

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[主なタスク](#)

[CDM を設定して下さい](#)

[CE をアップグレードして下さい](#)

[CDM をアップグレードして下さい](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Enterprise CDN (ECDN) ソリューション全体をアップグレードする方法について説明します。Content Engine (CE) の項は、特に ACNS へ ECDN ボックスをアップグレードするためのものです。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- ECDN 2.1
- ECDN 3.0.x

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

主なタスク

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

このプロシージャを行うために、必要とします:

1. [ECDN \(登録ユーザのみ\)](#) ウィザード。
2. PC
3. PC、CDM、および/または PC のためのレイヤ2 (L2) ネットワーク
4. ソフトウェア (ECDN-TO-ACNS-4.1.1-K9.meta および ECDN-TO-ACNS-4.1.1-K9.upg)

CDM を設定して下さい

CDM を設定されて得、複製の用意する必要があります。

1. CDM のプラグを差し込んで下さい。
2. CDM を起動して下さい。
3. ウィザードを実行して下さい。
4. ウィザード (MAC アドレスが表示されます) の選定された CDM。
5. CDM でこれらを割り当てて下さい: nameIP アドレスゲートウェイDNSサーバ情報
6. ユーザ名 adminand との CDM ([http:// <ip-address-of-cdm>/start.html](http://<ip-address-of-cdm>/start.html)) への付加デフォルトパスワード。
7. 大きな番号に CDM の帯域幅を設定して下さい。
8. **チャンネル コンソール**を選択して下さい。
9. **チャンネル**を『Add』を選択して下さい。
10. チャンネル 1.の隣で『Edit』をクリックして下さい。
11. チャンネル **MANUAL_UPGRADE** を、選定された**自動レプリケート**挙げれば**自動は定期講読**します。
12. チャンネルを **150Meg** 最小に変更し、『Save Changes』をクリックして下さい。
13. CDM に ECDN-TO-ACNS-4.1.1-K9.* ファイルを転送するのに FTP を使用して下さい。
14. 終わるためにインポートを待って下さい (これは約 2 分かかる必要があります)。
15. **アップデート**を『Software』を選択し、**利用可能なソフトウェア**を新たにインポートされすソフトウェア選択をリストすることを参照することを確認して下さい。

CE をアップグレードして下さい

CDM は CE にアップグレードを行って現在準備ができています。

1. プラグインすべての CE。
2. CE すべてを起動して下さい。
3. ウィザード (CE と同じ L2 ネットワークにある必要があります) を実行して下さい。
4. CE (ディスプレイの MAC アドレスが表示されます) を選択して下さい。
5. CDM のアドレスを、もし可能なら、使用 DHCP 入力すれば。さもなければ、IP アドレス、ネットマスクおよびゲートウェイを設定して下さい。
6. 各 CE のためのステップ 3 および 4 を繰り返して下さい。
7. ウィザードを完了して下さい。
8. CDM ([http:// <cdm-ip-address>/start.html](http://<cdm-ip-address>/start.html)) に参照して下さい。
9. **コンソール**を『Device』を選択して下さい。
10. CE (その感嘆符が付いている黄色い三角形を見るはずです) の隣で『Edit』をクリックして下さい。

11. 承認ボックスをチェックし、『Save Changes』をクリックして下さい。
12. 帯域幅を選択し、新しい CE を選択して下さい。
13. 大きい値に帯域幅を設定して下さい。
14. ステップを各 CE のための 7-10 繰り返して下さい。
15. 『Subscriber』を選択し、すべての CE が **MANUAL_UPGRADE** チャンネルを定期講読されることを確認して下さい。
16. チャンネル コンソールを選択し、複製ステータスを表示して下さい。
17. アップデートを『Software』を選択して下さい。
18. (複数が利用可能) ソフトウェア バージョンを選択して下さい。
19. CE すべてを選択して下さい。
20. アップデートを『Start』をクリックして下さい。

CDM をアップグレードして下さい

CE がこの CDM に残らないだろう場合これらのステップを実行して下さい:

1. CE ([http:// <ce-ip-address>/cgi/box](http://<ce-ip-address>/cgi/box)) のボックス リンクに接続して下さい。
2. 機能を選択して下さい。ユーザ名は **admin** であり、パスワードはデフォルトです。
3. 工場出荷時状態に『Set』を選択して下さい。
4. 『Set』をクリックして下さい。
5. ボックス リンクをクリックして下さい。
6. 『Reboot』をクリックして下さい。
7. 再度ブートするために確認に答えて下さい。
8. <ce-ip-address> への Telnet。
9. ログインする。ユーザ名は **admin** であり、パスワードはデフォルトです。
10. **show disks** コマンドを発行して下さい。
11. ディスク構成 **sysfs 10% cfs 50% mediafs 30% ecdnfs 10%** コマンドを発行して下さい。
異なる値を選択することができます。 [ディスクの設定の ACNSドキュメンテーション](#)を参照して下さい。次にコマンドの出力例を示します。
12. ECDN をディセーブルにしたいと思う場合もあります。
13. **reload** コマンドを発行します。

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [Content Engine 500 シリーズ ハードウェア 設定 例](#)
- [Content Engine 7300 シリーズ ハードウェア 設定 例](#)
- [Cache Engine 2050 シリーズ エンジン ハードウェア 設定 例](#)
- [Cache Engine 500 シリーズ ハードウェア 設定 例](#)

- [Cisco Cache Software サポート](#)
- [Cisco Application and Content Networking Software \(ACNS \) 設定 例](#)
- [すべてのコンテンツ ネットワーキング デバイス 設定 例](#)
- [Cisco Cache Engine 3.0 Software Download ページ \(登録ユーザのみ \)](#)
- [Cisco Cache Engine 2.0 Software Download ページ \(登録ユーザのみ \)](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)